

卓球部女子が準優勝

●ソフトテニス

〈男子〉
団体戦

一回戦 倉東 2・1 湖陵
二回戦 倉東 0・3 米工

団体戦では一回戦全員が持てる力を惜しみなく発揮できた試合でした。二回戦は強豪校相手に臆さず、むしろ楽しく試合をすることが出来ました。個人戦は全員が初戦敗退でしたが、最後まで諦めることなく戦えたと思います。これからは東高が有利になると思うので1・2年生は頑張ってください。テニスが楽しいと思える部活、試合をして下さい。最後に、頼りない部長でしたがついてきてくれて本当にありがとうございました。(牧本一輝)



▲サーブを打つ牧本くん(八頭戦)

〈女子〉
団体戦

一回戦 倉東 2・1 八頭
二回戦 倉東 0・3 松蔭

部員不足のために一度でも負けると上にあがれない状態であった団体戦、一回戦の八頭戦は全員が元気に力一杯戦えました。二回戦では強豪の松蔭と戦い、強

気で全力で挑んだものの、勝つことが出来ず敗れてしまいました。また、個人戦も惜しくも一回戦敗退という結果になってしまいました。今回は悔しい気持ちで大会を終えてしまったので、秋の新人戦に向けて、日々の練習と部員の確保に頑張りたいです。(宮本梨華子)

●ハンドボール

〈男子〉

一回戦 倉東 25・21 米西
準決勝 倉東 25・33 境
三決勝 倉東 31・24 境総

一回戦はこれまで二敗していた米西に競り勝つことができた、チームの成長を感じた試合でした。準決勝では境高に8点差という実力差をつけられて負けてしまい、インターハイにはいけませんでしたが、3位決定戦では皆気持ちを切り替えて境高に勝つことができました。最後の試合を勝ちで終わることが出来ました。今まで付いてきてくれた仲間、支えてくださった先生方々、関わってくれた先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。(中本樹)



▲守りを固めるハンド部男子

〈女子〉

一回戦 倉東 18・31 倉西

相手の高い得点力に追いつくことが出来ず、大差で負ける結果となった。それでも最後まで諦めず立ち向かい、今までの練習が貴重な時間だったと思える試合だった。

顧問の牧野先生、古川先生、応援して下さいました方には本当に感謝しています。後輩達には勝つ経験をあまりさせてあげられなかった。次の代では自分達の手で勝利を掴んで欲しい。最後に、今までついてきてくれた部員の皆、ありがとう。大好きです。(伊藤紫麻)

●バスケットボール

〈男子〉

一回戦 倉東 126・46 松蔭
二回戦 倉東 63・66 鳥東

僕たちは「インターハイ出場」を目標に掲げ、一年間練習に取り組んできました。二回戦敗退という結果になりましたが、自分たちの気持ちをぶつけ、100%の力を出しきった最高のゲームをすることが出来たと思います。今までサポートしてくれた家族、僕達と全力で向き合い御指導してくださった養原先生、応援してくださった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。(金浦慎)

〈女子〉

一回戦 倉東 70・37 青谷
準決勝 倉東 79・66 八頭
準決勝 倉東 60・79 倉北

準決勝でこれまで何度も対戦してきた倉北と戦いま

した。前半後半とも互角に戦うことができたが負けてしまいました。しかし今まで一番良い試合ができたことを誇りに思います。私達が目標としていたインターハイには行くことができませんでしたが、色々な方々に支えられ大好きなバスケットができた二年数ヶ月でした。わたしたちを応援し続けてくださった皆様本当にありがとうございました。(荒井文佳)

●ラグビー

予選リーグ 倉東 2勝0敗
決勝戦 倉東 10・19 倉北

今回は各校の部員不足のため、10人制の試合だった。その中で東高は主将・竹本の負傷によりキャプテン不在で試合に臨んだ。予選リーグは一位通過できたが、決勝の倉北戦では切り替えの遅さや、反応の遅さが目立ち、悪い流れのまま負けてしまった。花園出場選手が多くなる中で、今回の敗戦はあつてはならないものだった。もっと「勝ち」にこだわる勝負をしていかなければならない。(小倉綾介)

●サッカー

一回戦 倉東 4・1 松蔭
二回戦 倉東 2・2 米工 (PK 4・5)

ベスト4という目標でこれまで練習してきましたが、結果は2回戦敗退でした。自分達の持てる力は出し尽くしたつもりですが、PK負けという後味の悪い結果になってしまいました。これから1・2年生が主体のチームになると思うけど、ひたむきに練習すれば、必

ず結果はついてくると思うので、部員全員で頑張ってください。最後に、これまで支えて下さった松信コーチ、先生方、保護者の方々、本当にありがとうございました。(宮本健汰)



▲激しい競り合いをする宮本君(松蔭戦)

●テニス

〈男子〉
団体戦

一回戦 倉東 1・2 育英

団体戦では、惜しい試合もあったのですが、あと一勝することが出来ませんでした。個人戦でもよい結果を出す事が出来なかったのですが、それぞれが自分のテニスをし、悔いの残らない試合が出来たと思います。最後にこれまで充実した練習が出来たのも、僕たちを支えてくださった方々のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。(戸崎成彦)

〈女子〉
団体戦

一回戦 倉東 3・0 米子
二回戦 倉東 1・2 米東

個人戦・シングルス
門脇彩実 ベスト16
(中国大会出場)
団体戦では良い結果を残

することができなかったけど、後輩たちの次に繋がる良い試合ができたと思う。入部してから、顧問の先生や面白い先輩・後輩たちに恵まれ、和気藹々とテニスをすることができて本当に楽しかった。これまで私達を支えて下さった方々や関係者の皆さん、本当に感謝しています。ありがとうございました。(門脇彩実)

●剣道

男子団体 倉東 4・0 北斗
倉東 2・3 松蔭
男子個人 柴田優一 ベスト16

今回の試合では、中国大会予選やそれ以前の大会と比べ、だいぶ力が付いてきているのが見られました。個人においては、全体的に勝てるようになり、団体においては、優勝候補に食い下がる事が出来ました。しかし悔いも残ります。それをバネに中国大会では頑張りたいです。最後に部長として皆の成長に貢献できていたらと思います。人数は少なくなりますが、後輩には頑張ってもらってほしいと思います。(吉田拓洋)

●卓球

〈男子〉
団体戦

一回戦 倉東 3・0 米子
二回戦 倉東 1・2 米東

団体では選手とベンチが一体となり試合に臨み、鳥工は倒したものの、米子高専に惜敗し、ベスト8に終わりました。シングルのダブルスもインターハイ出場

をかけた試合で惜しくも敗れました。結果としては悔いが残る試合でしたが、会場に来てくださった保護者の方、コーチ、顧問の先生、チームのメンバー皆の応援のもと最後の一球まで諦めずプレーできた事がとても嬉しかったです。顧問の先生、小林コーチ、伊藤コーチ、応援して下さいました方々、本当にありがとうございました。(森田真幸)



▲ベスト8進出の山下・山中ペア

〈女子〉
女子団体戦

個人戦・ダブルス
山下・山中 ベスト8
鈴木・油井 ベスト16
中原・高岡 ベスト16

中原遥菜・山下侑花・鈴木慧 ベスト16
山中友美・高岡春妃 ベスト32

団体戦では準決勝で強敵の倉北を破ったが、決勝で敬愛高校と対戦し、あと1歩のところまで負けてしまいました。人間関係など様々な事に悩み、その度に皆で話し合っって前進してきて、今回の総体という舞台では、かつてない団結力を発揮することができました。ここまでこれたのは、応援してくださった保護者、先生、コーチのおかげです。ありがとうございました。(中原遥菜)